

社会福祉法人白浜町社会福祉協議会 合併 10 周年記念

平成27年度

地域福祉のひろば

～ともに生き ともに支え合うあたたかい地域～

開催日 2016 年 1 月 23 日（土）13：00—16：00

会 場 白浜会館（和歌山県西牟婁郡白浜町 1）

■主催 社会福祉法人白浜町社会福祉協議会

■後援 白浜町／白浜町議会／白浜町教育委員会／白浜町自治連絡協議会／白浜町PTA連絡協議会

写真撮影：白浜町玉伝地内

平成27年度 地域福祉のひろば

開催目的

私たちの住む地域は、少子高齢化に伴う人口減少や社会情勢の変化などにより、制度だけでは解決できないさまざまな社会的課題が発生しています。本会では合併10周年を迎え「ともに生き、ともに支え合うあたたかい地域」の実現を目指して、住民が主体的に取り組み、すべての人を包摂できるような地域づくりをしていくための「学び」＝「福祉教育」に取り組み、大人も子どもも地域の中で共に生き、共に学びあい、共に育ちあう活動を進める場として「地域福祉のひろば」を開催いたします。

主 催

社会福祉法人 白浜町社会福祉協議会

後 援

白浜町／白浜町議会／白浜町教育委員会／白浜町自治連絡協議会／
白浜町PTA連絡協議会

平成27年度 地域福祉のひろば 日程・目次

1月23日(土)

12:30～13:00	受付
13:00～13:05(5)	開会 ■開会挨拶 社会福祉法人 白浜町社会福祉協議会 会長 石田 武夫
13:05～13:30(25)	社会福祉功労者(団体)表彰式 社会福祉の増進に寄与し功労のあった者に対し、白浜町社会福祉協議会がこれを表彰します ■来賓挨拶
13:30～13:40(10)	休憩
13:40～14:30(50)	基調講演 テーマ「だれもが暮らしやすいまちをめざして」 日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 野尻 紀恵 氏 実践報告 白浜町立三舞中学校 1年生 森 亮太さん 2年生 中嶋 悠大さん 三舞・川添地区 ボランティア 安居地区 廣井 清吾 氏 寺山地区 生本 洋三 氏 滝地区 小山 富也 氏
14:30～14:40(10)	休憩
14:40～15:40(60)	実践報告 白浜町立富田小学校 6年生 福田 航洋さん 源 優聖さん 熊谷 乙葉さん 橋本 望衣さん 山本 茉由夏さん 白浜婦人会 会長 田井 たづ子 氏 コーディネーター 日本福祉大学 准教授 野尻 紀恵 氏
15:40～15:45(5)	閉会
15:45～	ご当地キャラと遊ぼう

司会・・・志賀和美氏（FMビーチステーション）

PC 要約筆記・・・Friends9 紀南支部

手話通訳・・・角 満子氏、近藤 信子氏、根木 佳也子氏

社会福祉功労者(団体)表彰式

社会福祉協議会 会長

石田 武夫

(いしだ たけお)

社会福祉の推進に多年活動を続け、その功績のあった方(団体)、その他広く社会福祉の増進に寄与し功労のあった方(団体)に対し、白浜町社会福祉協議会会長がこれを表彰並びに感謝状の贈呈を行います。

社会福祉功労者(団体)受賞者名簿

(敬称略順不同)

社会福祉功労者

(1) 高齢者・障がい者で、生業に励み、又は社会に寄与し、地域社会で親しまれ、尊ばれ、他の模範となる者

氏 名	地 区
尾 崎 祥 子 (おざき よしこ)	西富田
小 阪 ユ リ (こさか ゆり)	日 置

(2) 社会福祉関係団体の役員として、特にすぐれた功績のあった者

氏 名	団体(役職)
小 森 弘 子 (こもり ひろこ)	白浜町母子寡婦福祉連合会(会長)
津 越 敬 三 (つごし けいぞう)	白浜町身体障害者連盟(副会長)

感謝状贈呈者

(3) 多額の寄付者(毎年寄付)

氏 名	団体(役職)
林 丈 嗣 (はやし たけつぐ)	愛の会和歌山(代表)

(4) 福祉委員として、多年(6年以上)にわたり地域福祉の増進に寄与し、特に功績のあった者

氏 名	地 区
鈴 木 直 喜 (すずき なおき)	西富田

(5) 多年にわたり本会の事業に協力し、地域福祉の増進に寄与した個人又は団体

氏 名	地 区
一ノ瀬 司 郎 (いちのせ しろう)	瀬 戸
木 下 延 秀 (きのした のぶひで)	富 田

基調講演

日本福祉大学 社会福祉学部
准教授

野尻 紀恵

(のじり きえ)

■プロフィール

学歴

神戸大学教育学部

関西学院大学院総合政策研究科前期博士課程(修士:総合政策)

大阪府立大学大学院人間社会学研究科社会福祉学専攻博士
後期課程満期退学

職歴

大学卒業後、神戸市内で高等学校教諭として19年間勤務。

2008 年より神戸常盤大学短期大学部幼児教育学科専任講師

2011年4月より現職。

大学院時代、長田区社会福祉協議会長田ボランティアセンター
でボランティアコーディネーターを勤める。

2007年～2011年 茨木市でスクールソーシャルワーカー

2012 年より茨木市教育委員会 SSW 事業スーパーバイザー

2013 年より半田市スクールソーシャルワーカー

2013 年より春日井市教育委員会かけはし事業スーパーバイザー

2013 年より南知多町教育委員会 SSW 事業スーパーバイザー

2014 年より常滑市教育委員会 SSW 事業スーパーバイザー

2015 年より日進市教育委員会 SSW 事業スーパーバイザー

研究領域は

教育福祉、スクールソーシャルワーク、福祉教育

著書

『児童福祉の地域ネットワーク』(共著、相川書房、2009)

『児童家庭福祉の成立と課題』(共著、勁草書房、2011)

『よくわかるスクールソーシャルワーク』(共著、ミネルヴァ書房、2012)

『ソーシャルワーク演習ケースブック』(共著、みらい、2012)

など。

だれもが暮らしやすいまちをめざして

野尻 紀恵

のじり きえ

日本福祉大学 社会福祉学部 (社会福祉士)

：



ふ く し

日本国憲法13条



幸福追求権

すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする



地域福祉の視点と福祉教育



地域の幸せ

に関するもの

すべてがテーマ

学習素材になる！！

事例 1

「わたしにもできた」

小規模作業所、社協、地域連携による
高校生による新商品開発

13



福祉教育の展開のポイントは 「地域」



地域課題のプロは地域のみなさん
地域のみなさんのお力を学校へ
学校と地域社会のネットワーク



福祉の共育で
子どもの育ちを支える

・・・子どもを粗末にしない地域社会へ
→ 住みやすい「まち」に

人を見ること

人を知ること

人を理解すること

これが福祉教育



事例2

認知症サポーター講座 を活用して

13



事例 3

ぼくたち・わたしたちのまちを知る ワークショップ

13









共に学ぶ
ということの意味
・・・関係性、互酬性



誰をも包み込む地域



社会的包摂の実現



社会的包摂と福祉教育

1. 地域の福祉に目を向け
2. 誰もが生活しやすくなるために
3. あなたが主役のまちづくり



暮らしやすい地域社会へ

♣ひとが未来の地域を創る

♣ひとの声が響く社会へ

♣ひとが育てば、まちも育つ



ご清聴ありがとうございました

2016年1月23日
野尻 紀恵

2015年度ワークキャンプ
玉伝自然学校
実施発表

A black and white illustration of a boy and a girl walking a dog in a field. The boy is on the left, wearing a dark shirt and pants, walking towards the right. The girl is on the right, wearing a light-colored dress, walking towards the left. A dog is walking between them. The background features a large, smiling sun in the upper right corner and stylized clouds. The ground is a simple horizontal line with some small tufts of grass.

事業実施地域の概要

玉伝自然学校開催に至った経過

「玉伝自然学校」実施地域は日置川上流の三舞中学校区（三舞・川添地域）を対象に開催しております。

対象地域については平成19年に川添中学校、平成20年に玉伝小学校の廃校による学校の統廃合により校区が変更となり、それによる地域間の住民の交流も変わりつつある地域です。



玉伝自然学校開催に至った経過

又、今回の実施地区である大地区においては、平成23年紀伊半島大水害時に大規模な土砂崩れが発生いたしました。開催拠点の旧玉伝小学校については、災害時の指定避難場所となっており、前述した災害時においても住民の方々の避難所としていたところでした。現在も台風・大雨等が発生した際には地域の指定避難所として活用されております。



玉伝自然学校開催に至った経過

白浜町社会福祉協議会として以前から大・玉伝地域において地域福祉座談会や地域支え合いマップ作りを開催してきました。その中でも住民の方々より旧玉伝小学校の活用についてのお話がありました。



玉伝自然学校開催に至った経過

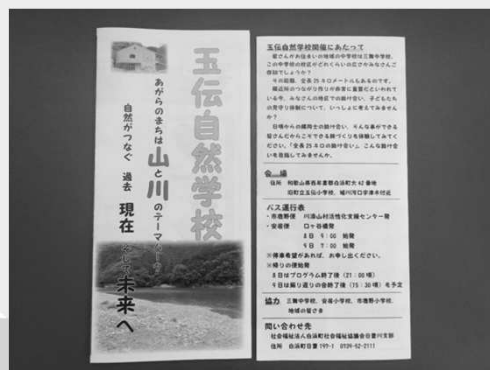
今回、小学校の児童や中学校の生徒の皆さんと地域で生活するすべての方々が参加できるキャンプを実施することによって、みなさんの地域の「つながり」について再確認を行うこと。大地震や津波、台風等のさまざまな自然災害に強い地域づくりや地域特性を活かした自然の楽しさ、大人も子供たちも安心して生活できる地域であることの再確認をしていただきたいということで「玉伝自然学校」を開催いたしました。



開催内容

1. 実施日 平成27年8月8日 9:30 ~ 8月9日 15:00

2. 会場 旧町立玉伝小学校周辺



開催内容

3. 参加人数 小・中学校 8日 20名、9日 15名（内宿泊 9名）
 内訳（三舞中 9名、安居小 9名、市鹿野小 2名）
 一般参加（父兄含む） 約14名
 教職員 7名（三舞中 3名、安居小 2名、市鹿野小 2名）
 ボランティア 27名



2016. 1. 23 13:00～ 白浜会館 「地域福祉広場」

地域の方との交流活動の報告

富田小学校6年生

富田小学校:元氣印のお助けウーマン



私たちは、新1年生です。
草引きボランティアの皆さん、
いつもありがとうございます。

ご挨拶が、上手にできてえらいわ！
お勉強しっかりがんばってね。



富田小学校がお世話になっている
学校ボランティアの種類

1. 定期的には

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 草引き | 2) 図書 |
| 3) 野菜づくり | 4) 囲碁 |
| 5) 花づくり | 6) 読み聞かせ |
| 7) 登校の見守り | |

2. 不定期には

- | | |
|--------------|----------|
| 1) 黒砂糖づくり | 2) 富田坂学習 |
| 3) 防災(津波等)学習 | 4) その他 |

図書ボランティアの皆さん



本のコーティングをしてくださっています。



野菜作りボランティアの方と一緒に夏野菜の苗植え



高学年有志によるくんたん作り

もみ殻で「くん炭」作る
白浜町富田小 野菜の肥料に



白浜町富田小学校の6年生は、校内でもみ殻をいぶすくん炭作りに挑戦した。初めての取り組み。野菜作りの肥料にしたいという。作業を通じて仲間づくりを深め、俳句作りの題材にも生かそうと取り入れた。地域には田んぼが広がり、もみ殻は地元の農家からもらった。

6年生の希望者が昼休みに集合。金田義校長（55）の指導で、もみ殻約7立方メートルを混ぜながらいぶした。大谷寛君（11）は「こんなふうに炭を作って肥料になるのだと初めて知った。おいしい野菜になったらうれしい」と話した。

今後6年生を中心に、くん炭作りをしていく予定にしている。

もみ殻を混ぜ、くん炭を作る児童（白浜町十九瀬で）

「こんなに大きいスイカがとれたよ！
重たいっ。落としそう。」



「大根もこんなに収穫できました。」



地域の方から囲碁などのクラブ活動を通して情操教育を





花作りボランティアの木下先生。
「きれいな花づくり
は、心も豊かに！」



町探検で校区のお寺を訪問

なかなか座禅はむずかしいなあ。足が痛いよ！



町探検で、ボランティアの方の畑を訪問



ボランティアの方からザリガニつりに招待されました。
当日は晴天で、大漁でした。



お世話になっているボランティアの方をお招きして、カレーパーティー
です。

ニンジン、玉
ねぎ、ジャガ
イモは学校
農園で収穫
しました。





ボランティアを招いてのカレー会食の用意を全校で分担しています。



量が多いからけっこうたいへんですよ。手を切らないようにね。



ボランティアの方と一緒に、会食後の楽しいひととき。



サツマイモの収穫です。
苗植えお世話になりました。



児童が、サツマイモの選別と手洗いをしています。



昔なつかしい石焼き芋です。



野菜ボランティアの方をお招きしての焼き芋パーティー



富田坂クラブの皆さんと、
世界遺産：熊野古道富田坂を現地学習



途中の説明にも耳を傾ける子供たち



「路傍の石などにも歴史的な価値があるんだよ」



最大の難所 七曲がりにて



峠の茶屋あとから
富田平野を一望



富田黒糖工房:さとうきびからの黒砂糖作り体験



収穫したさとうきびを
粉碎して果汁にして
いるところだよ。



疑問点を質問している
ぼくたち



ケアセンターとの交流

ありがとう、よう来てくれた
よう。



この絵は、皆さんいつまで
もお元気でという意味です。

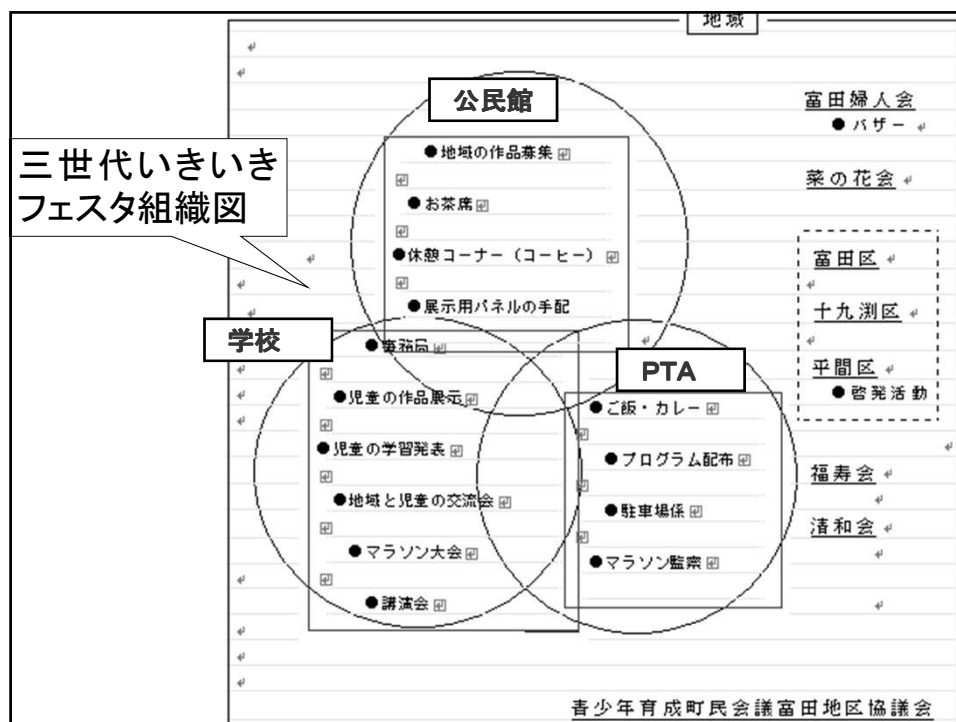


赤い羽根共同募金に協力



三世代いきいきフェスタ

- 「三世代いきいきフェスタ」は平成11年に始まったそうです。富田小学校では、それまでも地域との交流を目的とした体験活動があったそうです。
- いきいきフェスタの実施にあたり、富田小学校と、公民館活動の、2つの取組が合わさって、今日まで続いているそうです。



しめなわづくり体験



お茶室、折り紙、お手玉教室その他のいろいろな体験コーナーが...





マラソンの後、みんなで食べるご飯は最高



午後の学習発表1～4年



5・6年の発表は富田坂探検を俳句で表現して発表しました。



福祉講演会：ケアセンターより講師
子供・大人に分かりやすく講演

車椅子体験をした
子供の感想を
聞いている。



津波警告板の授業(防災) (講師:脇本敏功氏)



紀伊民報 2015年(平成27年)3月14日 土曜

津波警告板を紙芝居に

富田小6年 卒業制作 下級生に教訓伝える

白浜町の富田小学校6年生13人は、地域に伝わる津波警告板を紹介する紙芝居を作った。10日に校内で披露会を開き、下級生に警告板の教訓を伝えた。

校区の富田地区には300年以上前に作られた津波警告板「風文化財」がある。1707(宝永4年)の地震で津波が襲来した時の教訓として、地震の時は飛鳥山へ避難するよう記されている。地区では、飛鳥神社の祭りで警告板の内容を住民に聴聞させ防災啓発に活用している。

紙芝居作りは卒業制作として、学期から取り組み、警告板の活用に取り組み、脇本敏功富田校長(72)の指導を基に児童が文庫と絵を考案、11枚1組の紙芝居に仕上げた。

この日、防災学習をする3年生14人を前に発表。紙芝居では巨大な地震発生と津波襲来の様子、小倉山や飛鳥山に命からがら逃げた村人の様子を表現。財産や家財を取りに帰る百数十人が命を落とした歴史を紹介した。生き残った村人が子孫のために警告板を記したと、地震が発生すれば必ず津波や高潮があると思

って逃げなければならないという警告板の教訓を語り込んだ。

紙芝居の後、脇本校長が警告板や津波について講話し「紙芝居は分かりやすく、素晴らしい仕上がり。日頃の意識次第で津波から助かることができると信じて、少しでも高い所へ逃げて」と児童に呼び掛けた。

6年生の松本聖太君は「紙芝居作りによって津波と地震の怖さをあらためて感じた。地震の時は必ず逃げたい」と話した。

紙芝居は計15組あり、学校に寄贈した後、地域の図書館や地区に贈る予定。

(1)日、白浜町九十九

「津波の教訓伝えて」

富田小卒業生 白浜町に紙芝居寄贈

白浜町の富田小学校卒業生がこのほど、地域に伝わる津波警告板を紹介するため作った紙芝居を町に寄贈した。

紙芝居は、地域に300年以上前から伝わる津波警告板（県文化財）の内容を基に、3月に卒業した6年生13人が作った。1707年の宝永地震で津波が襲来した時の様子を生々しく伝え、地震の時はすぐに山へ逃げよう伝えていく。

卒業生は、警告板の内容を伝える活動をしている藤本敏功富田区長（左）から1月に出席授業を受けた後、文章と絵を考え、11枚の紙芝居を完成させた。同校3年生に紙芝居を披露し、卒業式では制作の様子を紙上で流すなどして紹介した。

卒業生を代表して柏木舞音さん（12）と藤本区長、金田さん（12）と藤本区長、金田

白浜町に紙芝居を寄贈した富田小学校卒業生の柏木舞音さん（中央）と藤本敏功さん（左）、井瀬誠町長＝白浜町役場で



< 終わりに > ボランティアの方との交流や体験 学習を通して学んだこと

- 1) 友達や大人の人と協力することの大切さ。
- 2) うまくいかないときに、相談したり工夫したりして乗り越えていくこと。
- 3) 地域の方に感謝する気持ちが自然と持てるようになったこと。
- 4) 交流を通して顔見知りが増え、出会ったときにあいさつできるようになったこと。
- 5) 地域の良いところが分かったこと。

ぼくたちの発表を聞いてくださって
ありがとうございました。



白浜婦人会の取り組み

白浜婦人会 会長 田井たづ子



(1) 白浜婦人会の歩み

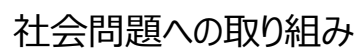


□「白浜町婦人会」発足 昭和22年12月7日

□目的：あたらしい女性の生き方を求める

□主な活動：

- ・他府県の婦人会との交流勉強活動
- ・新入学児童にノートや鉛筆を贈る ～昭和60年まで続く～
- ・被災地への義援金活動（チリ津波の際の見舞金 等）
- ・活動資金集め（国保税の徴収活動、100円化粧品販売等）



- 女性教育：女中さん学級、若妻学級
- 合成洗剤追放、石鹼使用の拡大運動
- 地域づくり・ボランティア：お弁当づくり、白良浜清掃活動

（２）敬老会での踊り





うちわなど小道具は
すべて手作り！



会場のお年寄りと
会話を楽しみながら
踊ります

(3) 白浜おどり

- 昭和42年に盆踊り大会としてはじまる
- そろいの浴衣で400人が御幸通りを一斉に踊る時も
- 白良浜で盆踊り大会としても開催
- 昭和61年に町全体のイベントとして「白浜おどり」として取り組まれるように！



盆踊りから路上踊りに！

白浜婦人会の取り組みが

町全体の取り組みに

